

おおてみち

第72号

平成22年(2010年)7月21日
滋賀県立安土城考古博物館

滋賀県立安土城考古博物館第40回企画展
財団法人滋賀県文化財保護協会設立40周年記念展

戦国の琵琶湖 ～近江の城の物語～

琵琶湖を制する者は天下を制す…

会期：平成22年
7月17日(土)～9月26日(日)

【開館時間】
午前9時～午後5時
(ただし入館は午後4時30分まで)

【休館日】
月曜および7/20
(ただし7/19・8/16・9/20は開館)

【入館料】 ※小中生・障害者および
県内在住の65歳以上は無料
大人 450円(360円)
高大生 250円(200円)

主催 財団法人滋賀県文化財保護協会
滋賀県立安土城考古博物館
後援 朝日新聞大津総局 / 京都新聞滋賀本社 / 産経新聞大津支局 / 中日新聞社
日本経済新聞社大津支局 / 毎日新聞大津支局 / 読売新聞大阪本社 / 共同通信社大津支局
時事通信社大津支局 / KBS京都 / NHK大津放送局 / 滋賀放送局
滋賀報知新聞社 / 滋賀県教育委員会 / 近江八幡市教育委員会 / 大津市教育委員会
甲賀市教育委員会 / 高島市教育委員会 / 長浜市教育委員会 / 米原市教育委員会



紫系威具足



大湊城跡天守台

『戦国の琵琶湖(うみ)』

近江の城の物語

琵琶湖を中心とする近江には、一三〇〇か所を超える城跡があり、国内屈指の「城の国」です。瀬田橋を制する者は天下を制す」の言葉に代表されるように、古代以来、琵琶湖を擁する近江は、我が国の歴史が変換する時に舞台となってきました。中でも戦国時代には、天下統一を夢見る武将達にとつて、琵琶湖と近江の掌握はその夢に大きく踏み出す一歩となっていたのです。

そこで、今回の展示では、戦国時代を中心に琵琶湖を取り巻く数多くの城郭を、戦略的な側面だけでなく、政治的・社会的機能に注目して戦乱の時代から泰平の時代への胎動を城の国・近江から見ていきます。

また、戦国武将の活躍した当時から今日に至るまであらゆる形で描かれた城や忍者・武将の生活の実体に、近年の発掘調査成果や史料・美術品類から迫ります。

主な展示資料

安土城跡・佐和山城跡出土資料(滋賀県教育委員会蔵) / 坂本城跡・大津城跡出土資料(大津市教育委員会蔵) / 大溝城跡・清水山城跡出土資料(高島市教育委員会蔵) / 鎌刃城跡・上平寺城跡出土資料(米原市教育委員会蔵) / 小谷城跡出土資料(長浜市教育委員会蔵)
紫系威具足・伝織田信澄着用鎖帷子(個人蔵)
・備前長船清光 / 天正4年銘刀(当館蔵)
手裏剣・忍び刀(甲賀忍術博物館蔵) / 大原家本『万川集海』(個人蔵)

関連行事等

*シンポジウム

「新視点・城がもたらした平和

目からウロコの城郭論」

日時 八月一五日(日) 一三時～一七時

内容

基調講演 中井 均氏(長浜城歴史博物館)

パネラー 谷口 徹氏(彦根市教育委員会)

渡辺恒一氏(彦根市立彦根城博物館)

コーディネータ

大沼 芳幸(滋賀県文化財保護協会)

*博物館講座

第一回 七月二五日(日) 一三時三〇分

「情報ネットワークの担い手 影の者たち」

講師 阿刀弘史(滋賀県文化財保護協会)

第二回 九月二二日(日) 一三時三〇分

「近江の城・発掘最新情報

講師 佐和山城・肥田城ほか

講師 大崎康文・小島孝修・堀 真人

(滋賀県文化財保護協会)

関連行事会場はいつでも当館セミナールーム

特別企画 城を守り活かす、現代の武士「大集合!

「城談会」城を守り活かす活動に取り組む人々が城への熱い想いを語ります

日時 八月二二日(土) 一三時

会場 当館セミナールーム

事例報告 関係6団体が参加予定

コーディネーター 大沼芳幸

(滋賀県文化財保護協会)

「ポスターセッション」城での活動をパネル

で紹介・意見交換もできます

日時 七月一七日(土)・八月二二日(土)

九月一八日(土)

いずれも九時～一七時

会場 当館エントランスホール

その他「土曜ギャラリートーク」も開催します。

開催日時等の詳細はお問い合わせください。

(財)滋賀県文化財保護協会 調査整理課通信

関津城跡の発掘調査など

「あの遺跡は今! パート11」で速報

関津城跡は瀬田川と関津集落が眼下に見下ろせる低丘陵の先端に立地する中世城跡です。鎌倉時代から在地の有力領主であった宇野氏の居城と推定され、現在発掘中です。丘陵の頂部と裾部を使った複雑な戦国時代末期の縄張で、土塁で囲まれた三か所の曲輪跡と礎石建物跡、虎口、堅堀などが見つかっています。遺物は信楽や備前など国内陶器、白磁などの輸入陶磁器、漆器碗、動物を模した銅製飾金具など多数出土しています。



今回、その成果をいち早く報告し、そのほか、京極家ゆかりの清滝寺・能仁寺遺跡や湖南市針氏城遺跡などの出土遺物も公開します。

「あの遺跡は今! part 11」
日時 平成二二年八月二二日(日)

午前九時～午後五時

会場 当館整理室

内容 出土遺物の展示解説、整理作業体験

レプリカアクセサリー製作

整理調査中間報告会 一〇時～、一四時

参加方法 申し込み不要、無料(一部材料費

必要)

収蔵資料紹介

鉄錠

滋賀県栗東市新開二号墳出土

古墳時代

鉄錠は両短辺を撥形にやや広げた長方形の鉄の薄板で、大中小の別があります。四世紀後半から五世紀頃の朝鮮半島や日本列島の古墳の副葬品として多量に出土します。一般に鉄素材とされていますが、朝鮮半島では板状鉄斧や鉄錠を棺の下に敷き並べて買地券的な性格を考えさせる例があることや、十の倍数枚の副葬が多いことから、貨幣的な機能を想定する意見もあります。

滋賀県内では栗東市新開二号墳から出土しています。埋葬主体は木棺墓とされ、鉄錠は棺外にあたる北側の壁上で鉄剣とともに十枚が束ねて置かれていました。発掘調査報告書には、鉄錠は「両端近くに横に二条の撚紐の痕が両面共に同じ位置に見られ、この鉄錠が恰も櫛柄をつらねるがごとし横列びに紐で連ねられたことを示す。」とあります。大きさの復元が可能な鉄錠は六枚で、長さの平均は一七・三cm、最大幅の平均は四・七cm、最小幅の平均は二・八cmで、小型の鉄錠に分類されます。新開二号墳の年代は五世紀中頃を前後する時期と推定されています。

なお、前期古墳で、博物館の近くに位置する瓢

箆山古墳でも、長さ一五・八cm、幅二・七cmの扁平で、「端の輪郭が丸み」をおびる「短冊形鉄板」が、埋葬施設の一つである竪穴式石室の粘土床面の「遺骸の腰」の辺りで出土しています。典型的な鉄錠のようにくびれ部はみられません。典型的な短冊形の鉄斧とは様相を異にしています。武器か鉄素材である可能性が指摘されています。

(大道和人)



滋賀県教育委員会文化財保護課 城郭通信

連続講座「近江の城郭」を開催します

昨年度に引き続き、今年度も連続講座を開催します。昨年度は「安土城四百三十年」と題して特別史跡安土城跡調査整備事業二〇年間の成果をご紹介いたしました。今年は「近江の城郭 六角VS織田」をテーマに、主として滋賀県東近江地域に残る近江守護六角氏の家臣たちの城跡を取り上げます。

昨年同様、室内講義と現地探訪をセットで行います。第一回は七月一七日、滋賀県立安土城考古博物館で時代背景や近江の城郭の概要をお話ししました。二回目からはいよいよ現地を訪れます。今年取り上げるのは、守護代伊庭氏の居館で水郷伊庭の中にある伊庭城（八月二八日）、六角氏の重臣目加田氏の居館目加田城（九月一八日）、元龜争乱の時柴田勝家が布陣した瓶割山城（一二月一八日）、六角氏の家臣布施氏の居城大森城（一月一五日）、観音寺城の北の守りを固める佐生城（二月一九日）、六角氏の一族鏡氏の居城星ヶ崎城（三月一九日）の六箇所です（カッコ内は連続講座実施日）。近江の中世城郭の、バラエティ豊かな姿を、ぜひとも味わっていただきたいと思います。

連続講座の詳細については「淡海の城」友の会のホームページをご覧ください。

<http://www.geocities.jp/nobunaga9999castle/dengenban.html#renzoku>

博物館の主な催し

7月	平成22年7月27日(火)～8月29日(日) テーマ展「阿弥陀仏への祈り展」	「戦国の琵琶湖 近江の城の物語」 第40回企画展 財団法人滋賀県文化財保護協会設立40周年記念展	17日(土)	第40回企画展関連 土曜ギャラリートーク第1回 10時30分～・15時～(1日2回) 「戦う城・治める城」 講師:大沼芳幸(滋賀県文化財保護協会) 企画展示室 入館料が必要
			18日(日)	体験博物館「勾玉をつくろう!!」 午前10時～・午後1時30分～ 参加費:500円 場所:多目的広場 要申込 各先着30名
			24日(土)	第40回企画展関連 土曜ギャラリートーク第2回 10時30分～・15時～(1日2回) 「観音寺城と家臣団の城」 講師:伊庭 功(滋賀県文化財保護協会) 企画展示室 入館料が必要
			25日(日)	博物館講座「情報ネットワークの担い手ー影の者たちー」 13時30分～15時(先着140名) 講師:阿刀弘史(滋賀県文化財保護協会) 無料 場所:セミナールーム
			29日(木) 30日(金)	「子ども考古学教室」 午後1時30分～(二日間とも) 要申込 先着40名 参加費:未定 場所:安土城考古博物館・発掘現場
			31日(土)	第40回企画展関連 土曜ギャラリートーク第3回 10時30分～・15時～(1日2回) 「信長の琵琶湖戦略」 講師:岩橋隆浩(滋賀県文化財保護協会) 企画展示室 入館料が必要
			1日(日)	「ミュージアムコンサート」 午後1時30分～ 定員:100名(先着順) 当日受付・参加無料 場所:エントランスホール
			7日(土)	第40回企画展関連 土曜ギャラリートーク第4回 10時30分～・15時～(1日2回) 「城と武将の生活」シリーズ① 講師:小竹森直子(滋賀県文化財保護協会) 企画展示室 入館料が必要
			8日(日)	体験博物館「なりきり戦国時代ーペーパークラフトによる甲冑製作体験」 午後1時30分～ 参加費:1000円 場所:館敷地内 要申込 先着親子20名
			15日(日)	企画展関連シンポジウム 13時～17時 無料(先着140名) 「新視点・城がもたらした平和ー目からウロコの城郭論ー」 パネラー:中井均氏(長浜城歴史博物館) コーディネーター:大沼芳幸(滋賀県文化財保護協会) 谷口徹氏(彦根市教育委員会) 渡辺恒一氏(彦根城博物館)
16日(月)	体験博物館「勾玉をつくろう!!」 午前10時～・午後1時30分～ 参加費:500円 場所:多目的広場 要申込 各先着30名			
21日(土)	フォーラム 城談会 城を守り活かす「現代の武士」大集合!! 13時～16時 自由(100席) 場所:セミナールーム 司会・コーディネーター:大沼芳幸(滋賀県文化財保護協会)			
22日(日)	埋蔵文化財整理調査中間報告会「あの遺跡は今! Part11」 13時～15時30分 無料(但し、模造品製作は有料) 場所:滋賀県立安土城考古博物館 整理室 「夏休み自由研究相談」 10時～16時 無料 要予約 定員:20名(先着順)			
28日(土)	第40回企画展関連 土曜ギャラリートーク第5回 10時30分～・15時～(1日2回) 「忍者って何者?」 講師:阿刀弘史(滋賀県文化財保護協会) 企画展示室 入館料が必要			
29日(日)	体験博物館「戦国時代へGO! ミニ戦(いくさ)サイズ」 午前10時～・午後1時30分～ 参加費:500円 場所:館敷地内 要申込 各先着親子20組			
9月			4日(土)	第40回企画展関連 土曜ギャラリートーク第6回 10時30分～・15時～(1日2回) 「信長と巨大鉄甲船」 講師:横田洋三(滋賀県文化財保護協会) 企画展示室 入館料が必要
			5日(日)	「名作映画鑑賞会」 無料 要予約 先着 140名 場所 セミナールーム
			11日(土)	第40回企画展関連 土曜ギャラリートーク第7回 10時30分～・15時～(1日2回) 「城絵図に見るウソ! ホント!」 講師:神保忠宏(滋賀県埋蔵文化財センター) 企画展示室 入館料が必要
			12日(日)	博物館講座「近江の城・発掘最新情報」 13時30分～15時(先着140名) 講師:堀 真人・小島孝修・大崎康文(滋賀県文化財保護協会) 無料 場所:セミナールーム
19日(日)	体験博物館「忍者になってみよう!!」 午後1時30分～ 参加費:500円 場所:多目的広場 要申込 先着30名			
10月	平成22年10月16日(土)～11月14日(日) 秋季特別展「室町最後の将軍ー足利義昭と織田信長ー」(仮題)			

おおてみち 第72号

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館

平成22年(2010年)7月21日発行

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678 TEL 0748-46-2424
E-mail:gakugei@azuchi-museum.or.jp URL http://www.azuchi-museum.or.jp